

高次脳機能しょうがいの改善の鍵は地域

高次脳機能しょうがいとは、脳卒中や、交通事故や頭部のけがなどで、脳が部分的に損傷を受けたため、記憶や、言語、注意、遂行などの機能に、しょうがいが生じた状態をいいます。

新しいことが覚えられない、注意力や集中力の低下、感情や行動の抑制がきかなくなるなどの精神・心理的症状が現れ、周囲の状況にあった適切な行動が選べなくなり、生活に支障を来すようになります。手足の麻痺や言語しょうがいと違って、外見上では分かりにくいため、周囲の理解が得られにくく、改善には時間がかかると言われています。

講演会では、地域社会の中でのリハビリ科医師としての豊富な体験から、高次脳機能しょうがいの改善の鍵について、お話があります。

【日 時】 平成 26 年 2 月 1 日(土) 14:00～16:00

※受付は 13:30～

【会 場】 くにたち市民総合体育館 2階会議室 (市役所西側の建物です)

【講 師】 長谷川 幹 先生

三軒茶屋リハビリテーションクリニック 院長

【費 用】 無料 <事前申し込み不要>

【お問合せ】 国立市 健康福祉部 しょうがいしゃ支援課 相談係

くにたち市民総合体育館 2階会議室

(国立市富士見台 2-48-1) 市役所西側の建物です。

【アクセス】

■JR国立駅南口バス4番乗り場から「国立泉団地」、「国立操車場」、「矢川駅」行きのバスにて「市民芸術小ホール・総合体育館前」下車

■JR矢川駅北口から徒歩 10分

■JR谷保駅北口から徒歩 10分

近くには国立市役所駐車場があります。ただし駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関を利用してください。

